

ふじさわサイクルプランの見直しに向けた取組について(最終報告)

本市は、平成26年3月に「藤沢市交通マスタープラン」の自転車に関する部門別計画として、「ふじさわサイクルプラン」を策定しました。

策定から概ね10年が経過するなか、現状の課題を踏まえつつ、現在見直し作業を進めている「藤沢市交通マスタープラン」に即した自転車施策を展開するとともに、自転車活用推進法の理念に基づき、自転車の活用を促進することを目的として、ふじさわサイクルプランを改定するものです。

この度、令和5年12月市議会定例会で報告（ふじさわサイクルプランの見直しに向けた取組について（中間報告））を行った素案に対するパブリックコメント等の意見を反映した計画案を取りまとめたことから、最終報告を行うものです。

1. パブリックコメント等の実施結果

■ パブリックコメント

令和5年12月7日から令和6年1月5日までパブリックコメントを実施し、素案に対する意見をいただきました。

➤ 意見件数：5件

■ ふじさわサイクルプラン推進連絡協議会

素案を議題として開催した、第23回ふじさわサイクルプラン推進連絡協議会（令和5年11月22日開催）で意見をいただきました。

➤ 意見件数：10件

意見件数 合計15件

2. 素案からの変更点

パブリックコメント（以下、「パブコメ」という。）及びふじさわサイクルプラン推進連絡協議会（以下、「協議会」という。）からの計15件の意見について、市の考え方を付して整理を行いました（資料2）。

また、令和5年12月市議会定例会（以下、「市議会」という。）における素案の報告でいただいた意見も踏まえ、素案から3点の変更を行いました。（変更箇所は下線で示しています。）

変更点. 1		「中短期で取り組む施策」に対する意見 【資料2 P. 4 (No. 2)】
意見	パブコメ	交通ルールの遵守を徹底して欲しい。
	市議会	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な乗り物へ向けた通行ルールの周知が必要ではないか。 ・シェアサイクル利用者に向けた安全啓発活動が必要ではないか。
市の考え方		<p>交通ルールの遵守及びマナーの向上は、自転車の利用を促進するうえで重要な視点であると捉えております。計画の見直しでは、引き続き基本方針の1つとして位置付けるとともに、取組の強化を図っておりますが、意見を踏まえ、新たに3つの取組を本計画に追加します。</p> <p>(1). 様々な乗り物の利用者に向けた通行ルールの周知 資料3 (P 6 1)「基本方針1 自転車の利用環境が整うまちづくり」では、「安全で快適な自転車通行空間の整備」を進めることとしておりますが、電動キックボードをはじめとする新たな乗り物の普及により、交通ルールが複雑化していることから、様々な乗り物の利用者に向けて、自転車通行空間等の通行ルールを周知する取組を本計画に追加します。</p> <p>(2). シェアサイクル利用者に向けた交通安全啓発 本市は、シェアサイクルの実証実験事業を実施しており、利用者の増加が見られることから、シェアサイクルの安全な利用を促す取組を本計画に追加します。</p> <p>(3). 学生や成人層への交通安全啓発活動の充実 様々な機会を捉え、学生や成人層に交通ルールの遵守等を促すため、学校や職場において交通安全啓発活動の中心となるリーダーを選任するなど、市民との協働による新たな取組の検討を本計画に追加します。</p>
変更箇所 (1)		資料3 P 9 3 【施策16 自転車通行空間における安全な通行に関する周知・啓発】 5行目
	変更前	(記述なし)
	変更後	<u>電動キックボードをはじめとする新たな乗り物の普及により交通ルールが複雑化していることから、自転車利用者のみならず、道路を通行する様々な乗り物の利用者に対し、自転車通行空間等の通行ルールの周知を図ります。</u>
変更箇所 (2)		資料3 P 9 5 【施策20 シェアサイクルの利用促進】6行目
	変更前	シェアサイクルの活用に向け、現在実施中の「湘南地域シェアサイクル広域周遊観光実証実験事業」について、利用状況の把握などの検証を進めます。
	変更後	<u>シェアサイクルの活用に向け、現在実施中の「湘南地域シェアサイクル広域周遊観光実証実験事業」において、事業者と連携し、利用状況の分析や、安全な利用を促す取組を進めます。</u>

変更箇所 (3)	資料3 P92 【施策14 交通安全教室等の推進】9行目
変更前	(記述なし)
変更後	<u>学生及び成人層への交通安全啓発活動を推進するため、学校や職場において啓発活動の中心となるリーダーを選任するなど、市民との協働による新たな取組を検討します。</u>

変更点. 2	計画全体に対する意見 【資料2 P.3 (No.1)】
意見 協議会	カタカナ語が多い事に関し常々不満を感じる。計画に記載の表記にも使い方の理解が難しいものがある。
市の 考え方	専門的な用語などを記載した「用語の解説」(参考資料編)の充実を図るとともに、記載された用語か判別が出来るように、「用語の解説」に記載の用語の右肩に「*」を追加します。
変更箇所	計画全般

変更点. 3	「中短期で取り組む施策」に対する意見
意見 市議会	サイクルツーリズムの推進に関しては、国道134号がナショナルサイクルルートに指定されたことから、本市の中部、北部地域の魅力を感じられるサイクルルートの検討などが必要ではないか。
市の 考え方	ナショナルサイクルルートと連携した北部地域へ至るサイクリングルートの提案を行うなど、サイクルツーリズムの推進を図る取組を本計画に追加します。
変更箇所	資料3 P96 【施策23 サイクリングルートに関する情報発信】1行目
変更前	関係機関と連携し、太平洋岸自転車道と連携した地域の魅力を感じられるサイクリングルートの提案や情報発信を進めます。
変更後	<u>ナショナルサイクルルートを活かし、太平洋岸自転車道から北部地域へ至る、地域の魅力を感じられるサイクリングルートの提案や情報発信を、関係機関と連携し進めます。</u>

3. 今後のスケジュール

令和6年2月市議会定例会及び協議会への報告などの後、内容を確定し、本年度中に計画を改定します。

(事務担当 計画建築部都市計画課)